

# 08 | 暮らし・コミュニティ



## 現状と課題

### - 横浜を取り巻く状況と課題 -

#### ○地域の担い手不足への対応、地域コミュニティの活性化

- ・地域に暮らす多様な人々が、地域と関わりながらそれぞれの力や個性を生かし、自分らしく健やかに暮らせる仕組みづくりが重要です。しかし、人口減少やライフスタイルの多様化等に伴い、地域のつながりが希薄化し地域活動の担い手不足や新たな担い手の発掘が課題となっています。
- ・ライフスタイルの多様化や社会の利便性向上に伴い、地域コミュニティへの参加者が低下し、自治会町内会加入率も減少傾向にあります。デジタル手法の導入等を通じた自治会町内会の負担軽減を図りながら、将来に向けた地域コミュニティの活性化に取り組んでいます。

#### ○市民サービス・利便性の向上、安心して暮らせる生活環境・住まいの形成

- ・市内には図書館をはじめとした市民の皆様が利用する様々な施設があり、利用状況・ニーズ、今後のまちづくりの方向性等を踏まえ、ハード・ソフト両面からの改善が重要です。一方で、施設の老朽化、サービスの多様化への対応、地域間の利用機会の格差などの解決すべき課題もあります。
- ・共働き世帯や高齢者等の増加、働き方・ライフスタイルの変化などにより、住まいのニーズは多様化しています。
- ・誰もが快適に暮らせるまちづくりに向け、市内でも特に人通りの多い駅周辺や繁華街を中心とした喫煙禁止区域に加え、2025（令和7）年4月から公園の禁煙化を実施しています。

#### ○多文化共生の取組

- ・外国人人口が増加傾向にある中、地域コミュニティにおいてもその一員としての存在感が高まっています。
- ・在住外国人の地域における活躍を促進すると共に、言語や習慣、文化の異なる住民同士が、ルールやマナー等の共通認識を持ち、地域社会で共に暮らせるよう、相互理解を深めることが重要です。
- ・滞在の長期化や、家族と暮らす人が増えている中で、言語だけでなく子育てや就労などニーズが多様化、複雑化しています。

## 目指す姿

### - 4年後、そして、更に将来にわたって目指すべき姿 -

- ・地域で、共に支え合い、誰もが自分らしく活躍できている暮らしやすいまちが実現しています。
- ・地域コミュニティが主体となって取り組む地域課題（防犯・防災や環境保全、子育て支援など）の解決に向けた活動が継続すると共に、自治会町内会など地域で活動する団体や人々、企業、学校などの多様な主体と連携する「協働による地域づくり」がより一層推進されています。
- ・快適な環境の中で、誰もが一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らしを実感しながら、安心して住み続けることができます。

## 政策指標

### - 市民の皆様の横浜市での暮らしの意識を表す指標 -

お住まいの地域は暮らしやすい  
まちだと思いますか

79.0%



住環境の充実、生涯学習環境の充実、多文化共生の充実、  
困難を抱えた市民の支援の充実に向けた取組に関連する  
主な個別分野別計画等

地域福祉保健計画

図書館ビジョン

住生活マスタープラン

自殺対策計画

依存症対策地域支援計画

男女共同参画  
行動計画



#### 【関連するSDGsの取組】



## 16 地域の生活環境

方向性

健康や環境に配慮した住まいの充実や豊かな住環境の形成と併せて、望まない受動喫煙の防止を図る取組を進めます。また、自治会町内会の負担軽減を図るため、デジタル手法等を導入し、情報共有や手続きの効率化を進めるなど、より多くの人々が地域活動に参加しやすい環境を整え、多様な主体が連携し、課題解決に向けて協力する活発な地域コミュニティの形成を目指します。これらを通じて、誰もが安心して快適な地域生活を送ることができる環境づくりを進めます。

指標

居住環境に配慮した※ 住宅ストック数	【建築局】	現状 125件 (R5時点)	目標 1,875件	地域で顔の見える関係ができて いると答えた市民の割合	【市民局】	現状 82.4%	目標 100%
直近1か月で受動喫煙の機会がある※ と答えた市民の割合	【健康福祉局】	現状 調査中	目標 1%	自治会町内会活動に係る補助金 等のオンライン申請率	【市民局】	現状 0%	目標 70%

## 17 学び・交流を支える地域の情報拠点

方向性

市立図書館は、「知る・学ぶ・深める」ことができるのはもちろん、未来を担うこどもたちや子育て世代をはじめ、全ての市民にとって、居心地よく自由に過ごすことができる多様な人々の「つどう・憩う」場を目指します。「遊ぶ・体験する」、「まちとつながり・交流する」、地域・団体と「連携・協働」できる場として、従来の市立図書館の枠組みを再構築し、地域図書館の老朽化対策や図書取次拠点の増設、デジタル技術の導入、新たな図書館整備等により、提供するサービスの充実とアクセス性向上を目指します。

指標

本に触れる機会が増加したと※ 答えた市民の割合	【教育委員会事務局】	現状 調査中	目標 1%	図書館の来館者数※	【教育委員会事務局】	現状 630万人 (R6時点)	目標 730万人
図書の貸出冊数※	【教育委員会事務局】	現状 1,220万冊 (R6時点)	目標 1,320万冊	こどもの来館者数※	【教育委員会事務局】	現状 調査中	目標 一人

## 18 多文化共生

方向性

言語、習慣、文化など異なる背景を持つ人々が、互いに認め合い、理解し合い、尊重しあって暮らせる地域社会づくりの推進に向けて、交流機会の創出を通じて相互理解を深める取組を進めると共に、地域活動への参加を促し、外国人が地域で活躍できる環境づくりを推進します。さらに、生活ルールや防災情報など、地域で暮らす上で必要な情報の普及啓発に取り組みます。

指標

地域社会において多様な文化を 理解し合うことが重要と考える 市民の割合	【国際局】	現状 調査中	目標 1%
---	-------	--------	-------

## 19 困難を抱えた人の支援

方向性

生活困窮、ひきこもりや依存症などに起因して様々な困難を抱えている人が、早期に適切な支援を受けられるよう、正しい理解の促進と制度の周知を行うと共に、地域社会の中で自分らしく安心して暮らすことができるよう、一人ひとりの暮らしに着目し、地域住民と支援機関・関係機関が協働して支えあう仕組みづくりを進めます。

指標

自立に向けた支援に※ つながった対象者数	【健康福祉局】	現状 7,920人 (R6時点)	目標 増加 7,920人以上	ひきこもりの新規相談件数※	【健康福祉局】	現状 2,425人 (R6時点)	目標 増加 2,425人以上
依存症支援者向け 研修の参加者数	【健康福祉局】	現状 1,267人 (R6時点)	目標 増加 1,267人以上	自殺死亡率※ (人口10万人あたり)	【健康福祉局】	現状 13.2 (R6時点)	目標 10.8

### 【関連データ等】

●のげやまこども図書館 おやこフロア



【出典】教育委員会事務局

●上:おやこフロアにおける読み聞かせ  
下:デジタルの利活用



【出典】教育委員会事務局

●外国人住民も参加した地域清掃活動の様子



【出典】南区